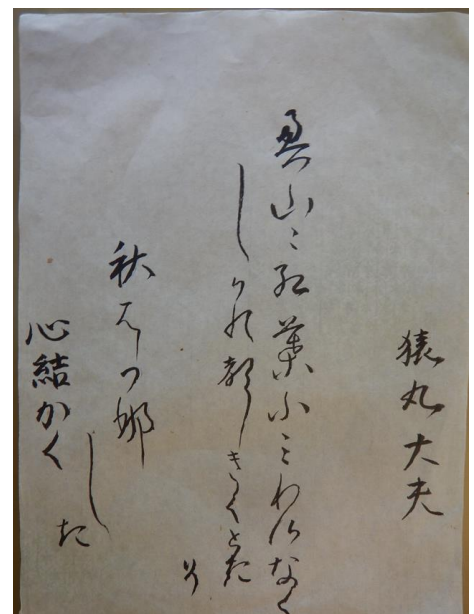
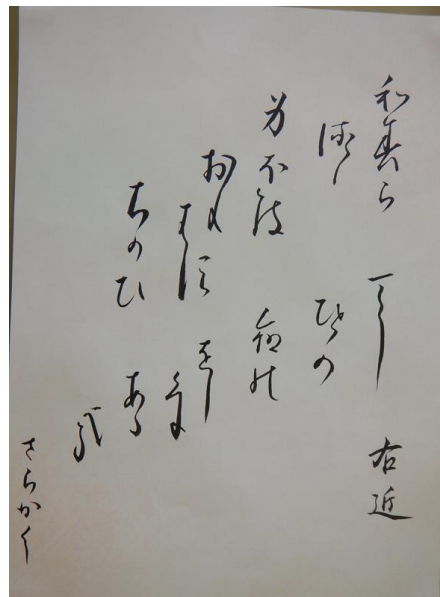


百人一首 かるた大会 12月

旧楯岡高校から続いている、本校の伝統である百人一首かるた大会が行われました。本校中高書道部は、百首の中からお気に入りの一首を毛筆で書き、屏風に貼ることで、盛り上げ役を担っています。

「百人一首」とは、鎌倉時代初期、藤原定家が京都の小倉山荘で、百人の歌人の代表的な歌を一首ずつ集めて編纂したものだといわれています。また、屏風に和歌を貼るという文化は、平安時代に内裏や皇族、貴族の邸で生まれたそうです。

2024年 NHK 大河ドラマ「光る君へ」では、源氏物語の筆者といわれる紫式部を演じる主演の女優さんが、プロの書家さんに教えていただき練習を重ね、撮影に臨んだことが話題になりました。本校書道部員も、平安時代の歌い手になりきって、歌が詠まれた背景と作者の思いを馳せ、心を込めて書きました。一年生は初めての草書への挑戦です。





光孝天皇
 一ノをくく大友男也
 若菜
 つた
 わさあま
 音いかに
 咲愛か

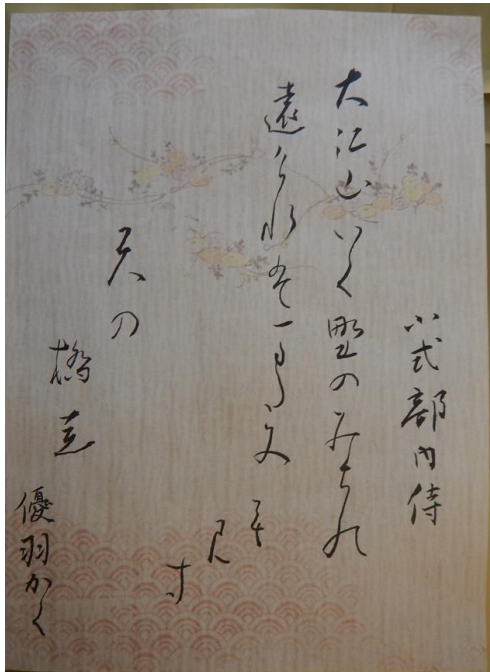
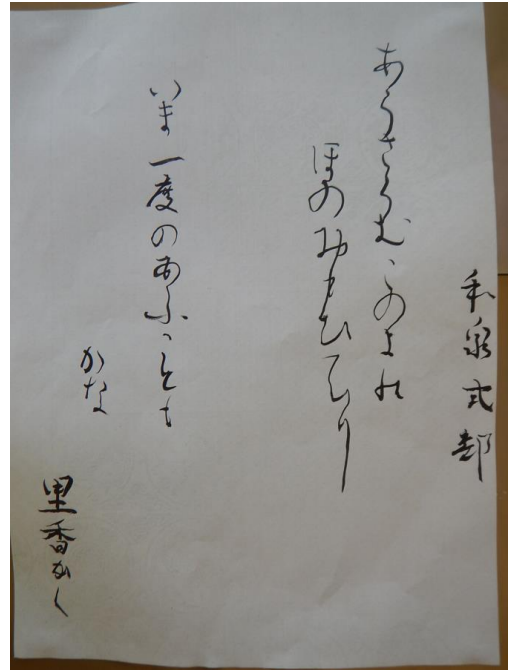
参議等
 あまのうたがら
 人のひ
 咲来か

入道前太政大臣
 花
 の庭れ
 常
 我身が常
 咲

南内内
 春のまはゆき
 うしろんたん
 なり
 咲

右近
 わ
 人の命おき
 咲
 莉乃か





◆高校の書道の先生、高校生の先輩方の作品も紹介します。

